

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

9875

観光地等空家活用推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	2	観光基盤の充実

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	総務管理費		
	目	企画調整費		
	大事業	企画調整事業		
	中事業	観光地等空家活用推進事業		

事業種別	単年	関連個別計画	
事業年度	平成30年度 ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	政策調整課 建島 克佳 435-1013
事業実施の根拠法令		関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	民間による空家資源活用の促進を目的とする。		観光地における空き家で価値があり、かつ地域交流等への公共目的に活用できるものについて、市が土地・建物共に寄付を受け、その物件の活用を希望する民間業者に対して、市が建物の所有権を民間に移転するとともに、耐震改修工事費等の一部を補助する。		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
		民間に対する耐震改修工事費等の一部を補助	民間に対する耐震改修工事費等の一部を補助	(企画課へ移管)	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	0	0	24,617	7,454	0	21,858	0	0	0	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	△100%	193.2%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	0	17,343	17,663	16,833	16,914	0	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	17,343	17,663	16,833	16,914	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	12,308	3,726	0	10,929	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	11,000	1,200	0	9,800	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	0	0	1,309	2,528	0	1,129	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.00	2.17	2.21	2.09	2.10	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	当初予算額0千円(H30繰越明許(負担金、補助金及び交付金21,858千円))									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
測量登記		回	目標値		1	0		
			実績値		1	0		
			達成度(%)	%	100%	100%	%	%
古民家改修		箇所	目標値			1		
			実績値			1		
			達成度(%)	%	%	100%	%	%
境界明示		回	目標値		1	0		
			実績値		1	0		
			達成度(%)	%	100%	0%	%	%
古民家改修		箇所	目標値			1		
			実績値			1		
			達成度(%)	%	%	100%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民から寄付申し出のあった古民家を民間事業者において改修し活用することで雑賀崎の観光拠点として観光振興を図る。
見直し・改善内容	空き家の活用が、より効果的なものとなるよう検討を深めていく。